

マニラ首都圏

CCIDA 17

PHAP Cares FOUNDATION, INC.

Conference Period
Jan 30th to Feb 24th, 2023

DOWNLOAD

Upload files Select Files

PLEASE CLICK HERE IF YOU HAVE PROBLEM VIEWING

U & A

If you have any questions, please send them by "Create New Topic" in "MIND MANILA". By this, the speaker will check your question and answer it later. Questions and answers will be posted in the "U&A" section.

This forum has 2 topics, and was last updated 1 month ago by = Hayato_Tsyo

Topic	Voices	Posts	Last Post
current trend and status of goods and pharmaceutical donations	1	1	1 month ago † Hayato_Tsyo
community responders and certified responders	1	1	1 month ago † Hayato_Tsyo

Create New Topic in "MIND MANILA"

Topic Title (Maximum Length: 40)

Notify me of follow-up replies via email

マニラ首都圏の新型コロナウイルス感染症対策の一連の流れを振り返って



今年もあとわずかとなりました。

新型コロナウイルス感染症の大流行が続いているにも関わらず、PHAP Cares Foundation（公衆衛生アソシエイトプログラムケア財団）が昨年達成したことを振り返ってみます。



そのハイライトと、不可能を可能にするために今日集まった私たち一人ひとりが行った貢献について振り返ってみたいと思います。この1年は、出席者全員から圧倒的な支持を得た3ヵ年戦略プランニングから始まりました。



困難な数年間のプログラムやプロジェクトの方向性は、新しいビジョン、ミッション、目標に合致していました。戦略的計画の後、PHAPは、医師、歯科医師および関連する専門家で構成されるボランティア部隊とその年次総会を実施しました。



その中で、今年度の財団の方向性と活動内容について、専務理事が発表しました。皆様の知識、資源、時間を提供してくださったことに心から感謝いたします。

ボランティアのおかげで、私たちの支援を必要としている地域のより多くの人々に手を差し伸べることができるのです。



例えば、私たちが持続可能なヘルスケアに関するプログラムでは、地理的に孤立した恵まれない地域であるアギタ地区を採択しています。我々は、7月に一時休業になっていたサンエミヨ市保健担当者との調整会議を実施しました。私たちは、口腔保健のためのパイプラインの活動、HIVや10代の妊娠に関する講義とサンエミヨ市町村長への成果のプレゼンテーションについて議論します。



このような地域は、一般的に5級自治体であり、医療資源が限られているため、私たちはこのプログラムを継続することを望んでいます。災害対応活動では、我が国を襲った強い地震に対して、いくつかの支援の呼びかけが会員に送られました。



5月2日、スリガオ・デル・ノルテ州のシャルガオ島デル・カルメンで発生したマグニチュード5.2の地震に対し、PHAPは2,000世帯への救援物資の配布を行いました。



一方、会員や他のパートナーは、薬の寄付プログラムにも積極的に取り組んでいます。ビタミン剤、軟膏、スキンクリームからアルコールに至るまで、さまざまな地域の人々が受け取っています。



7月27日、アブラ州ラガヤンでマグニチュード7.3の地震が発生しました。この地震はアブラ州の地域に影響を与え、イフガオ州のいくつかの地域でも起こりました。これらはすべてフィリピンの北の方でした。



8月4日にアブラ州のバンギッド教区を通じて、チョコレートドリンク、スリーピングマット、アルコールを被災家族に寄付することを配慮し、会員の皆様から地震の被災地のために金銭や現物での寄付のご協力をいただきました。



当財団は会員企業の支援を受けて、8月上旬に再び北部のアブラ州に行き、必要とされているブランケット、蚊帳、使用済みの防水シート、チョコレート飲料をバンギッド教区に寄贈しました。



私達は北部でHIV についての講義を実施し、バランガイでは妊婦に食事を提供するなど出来る限り訪問しています。

講義は、元サンラザロ病院(国立感染症レファラルセンター)院長のベニート博士によって行われました。



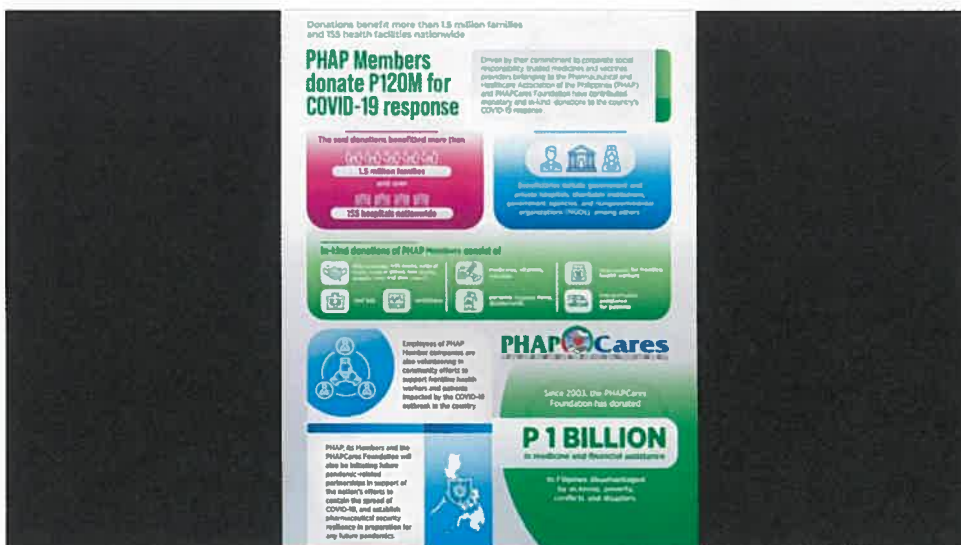
災害リスク軽減管理コーディネーターと地震と地滑りの捜索と救助のオリエンテーションコースを実施してほしいという要望に対して、教育省最大の災害リスク軽減管理コーディネーターとその中等教育機関との間で一連の調整会議が開催されました。



アブラ州の山間部を襲ったマグニチュード7の地震は、近隣のイロコス州やエル・サロ州に破壊の跡を残し、メトロマニラ開発局公安部との提携によるトレーニングプログラムが実施されました。



このたび、マニラ首都圏開発庁と覚書を締結したことを、ここにご報告することを嬉しく思います。この覚書により、MDA(マニラ首都圏開発庁)とPHAPは、それぞれのリソースとネットワークを最大限に活用し、個々の企業やいくつかのパートナー、全国のコミュニティ内でコミュニティレスポンスを構築することができるようになるのです。



私たちの企業財団連盟のパートナーであるアボイチ財団は、私たちのためにチョコレートドリンクを何百箱も寄贈してくださり、この一年で、多くの基金に寄付されました。これまでの実績を簡潔にご紹介します。



2003年から現在に至るまで、10億個以上の医薬品を寄付してきました。医療支援活動により、1万人の方が恩恵を受けたのです。

これは、2016年から現在までで5,000世帯に換算されます。



また、2016年から現在までに地震・土砂災害捜索救助オリエンテーションコースから訓練を受けた認定レスポnderが564名います。



そして、今回のパンデミックでもキャンペーン活動を休むことなく行い、860万ペソ相当のPPE(防護服)を提供することができました。

そして、これらは38の地方自治体・民間病院、NGO、医療機関に提供されています。



また、「医薬品寄贈実践ハンドブック」は、医薬品寄贈の実践のためのガイドとして、著作権を取得し、会員に配布することができました。



PHAPは、世界保健機関（WHO）が認定する「健康都市連合」のメンバーとして、財団の中で最初に加盟したことを発表できることを誇りに思います。



私たちは、アジア地区のサンエミヨ・イロコソールのすべての学校の4年生までの157名の児童を対象に、口腔衛生プログラムを実施しました。



パンデミックの終焉を目前にし、私たちは企業の社会的責任活動についても記憶にとどめておきたいと考えています。



私たちは、過去2年間のパンデミック対策を振り返り、フィリピンで最も発行部数の多い新聞のひとつであるビジネスミラー(フィリピンの日刊ビジネス新聞)とのウェビナーで、他のプログラムとともに、人々のケアについて紹介しました。

ビジネスミラーはフィリピンで最も発行部数の多い新聞のひとつです。

フィリピンにおける新型コロナウイルス感染症の流れ



2019年、世界保健機関（WHO）は新型コロナウイルス感染症をパンデミックと宣言しました。



世界保健機関（WHO）はこの流行を24時間体制で評価しており、感染拡大と重症化の深刻なレベル、そして対策の不十分な状況に深刻な懸念を抱いています。



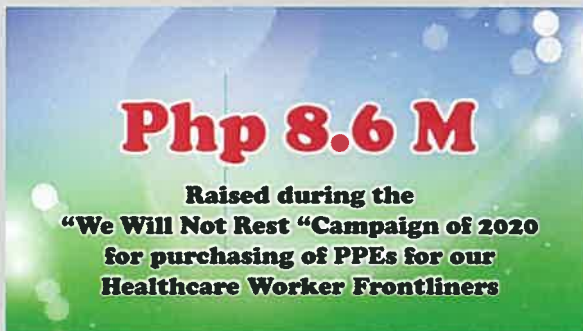
したがって、我々は新型コロナウイルス感染症がパンデミックとして特徴づけられるという評価をし、国内および現実的にマニラ首都圏への往復は、2019年3月15日から停止されるものとしています。



ラング・センター・オブ・ザ・フィリピンは、患者の受け入れに苦慮していることを認めています



世界的に大量の個人用防護具（PPE）が不足しています。



2020年には、寄付により合計で860万ペソが集まり、個人用防護具（PPE）の購入に使用されました。



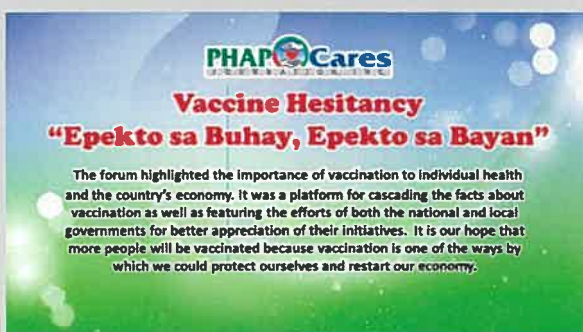
政府、民間病院、非政府組織（NGO）、地方政府単位（LGUs）、そして全国の医療機関など、合計38の組織が協力しました。



PHAP会員は、新型コロナウイルス感染症対策のために1億2千万ペソを寄付しました。



2021年、新型コロナウイルス感染症パンデミックの2年目には、「We Will Not Rest」というキャンペーンが実施されました。



ワクチンを受けることに対して躊躇している人々を対象としたワクチン接種促進キャンペーンが実施されました。



前に進むために、私たちは、パンデミックの経験から学びたいと思います。



まず、健康はより広い意味合いを持ち、優先的に取り組むべきものであることを学びました。また、次の健康課題に備えるためには、健康への投資も必要です。これらの事実は、システム全体のアプローチを通じて、ヘルスケアの持続可能性の必要性を強調しています。



私たちは、医薬品、ワクチン、ガバナンス、医療情報、医療人材など、医療のビルディングブロックを強化することが必要です。これにより、現在および将来の健康上の脅威に対処するため、健康的なコミュニティと健康的な都市を確立していきます。



2つ目は、イノベーションの大切さを学んだことです。私たちは、パートナーシップのあり方について、革新的なアプローチで物事を進めていきたいと考えています。政府、医療界、患者、他の財団、そしてフィリピン・グラフィックやビジネスミラーなどのメディアともしっかりとパートナーシップを結び、私たちのネットワークを広げ、リソースをより深くしていきたいと考えています。



最後に、私たちは、CSR(企業の社会的責任)の取り組みにおいて、持続可能性と革新性の模範となる会員を表彰しています。

なぜなら、彼らが人々のために行っているすべての取り組みに、私たちが感謝していることを、メンバーに知ってもらいたいからです。



また、私たちは、史上初のビヘイビアファンデーション(行動財団)、CSR認定証、エクセレンス・アライアンス認定証も認定しています。



このCSR認定証は、会員が組織のプログラムやプロジェクトに優れた支援を行い、フィリピン人コミュニティの人々の生活と健康を改善するために、持続可能で革新的な、これらの模範的取り組みに対して、メンバーが最高の栄誉を成し遂げた証拠です。



私たちは、この取り組みにおいて、最大のパートナーである保健省およびフィリピン医師会に感謝しています。私たちは、CSR SEAL of Excellence Allianceの活動が認められたことに興奮すると同時に、私たち独自の健康都市イニシアティブを確立し、都市化によって脆弱になった都市生活者の健康状態を持続的に改善し、資源、災害、汚染、生活の質に大きな影響を与える多くのストレス要因を取り除くことに尽力するつもりです。



一社や二社ではできないことなので、他の組織からの参加も歓迎しています。当財団への支援を惜しまない会員やパートナーの方々をご紹介します。特に緊急時や災害時には、私たちの呼びかけにいつも応えてくれています。私たちが人々のために仕事をするのを、絶え間なく助けてくれているのです。



もちろん、これらのことは、私たちの勤勉な事務局の絶え間ないサポートなしには不可能です。ありがとうございました。そして、皆さん、楽しい一日をお過ごしください。

